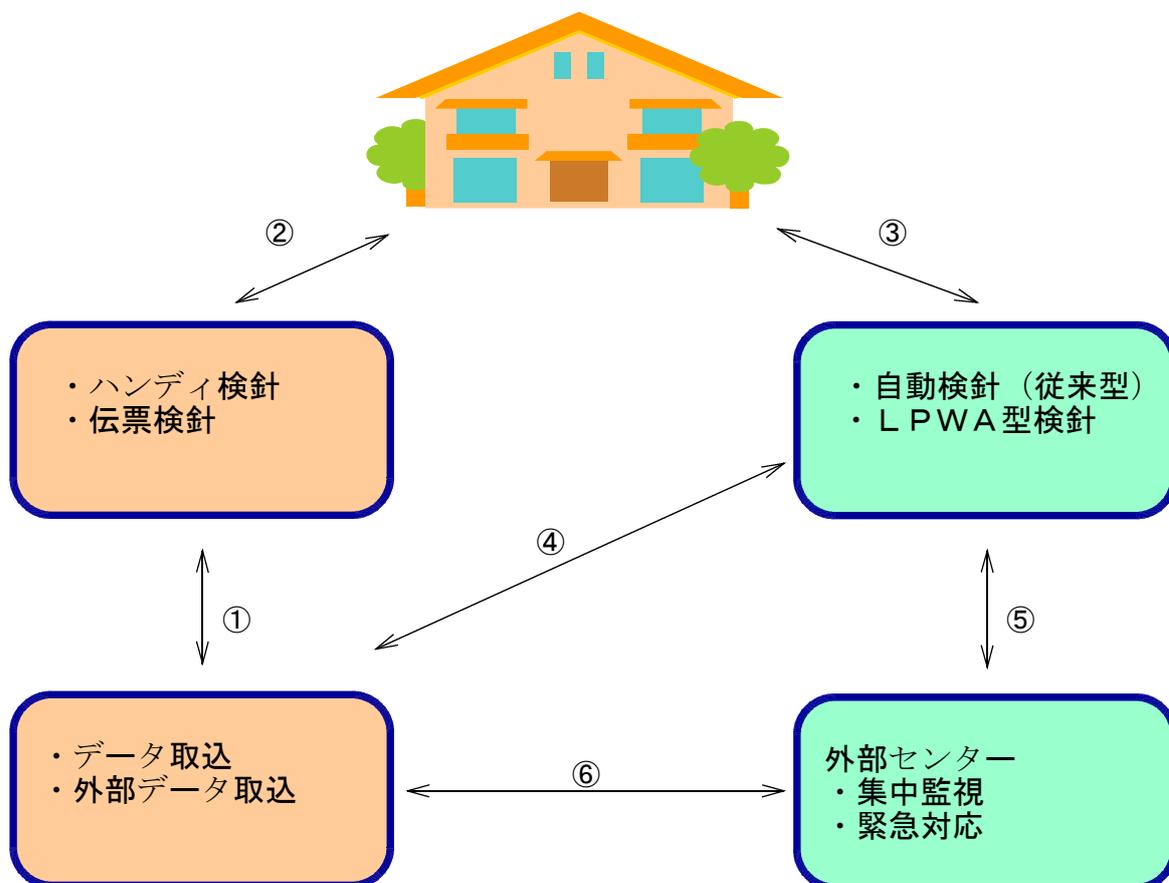


検針の方法と、お知らせ／請求方法



- ①自社システムでデータの作成、取込
- ②客先を訪問して「検針」、その場で伝票を作成できる。
- ③メーターに内蔵、またはメータに追加で取り付けられた装置で「検針」決められた日時に、自動発報してデータを送信する。
警報は都度発報する。
- ④自社に受信装置を設置して（自社センター）、メータ情報を「受信」する。
双方向機能で、直接メータ管理もできる。
- ⑤メータメーカーや、テレコンセンターなどに、管理を代行してもらう（外部センター）。
- ⑥データは、センターにログインするなどして取り込む。

従来型の、①②の方法では、お客様と直接接する機会があり、商売上も有益な方法でした。しかし、電力会社や都市ガスが、スマートメーターを使って訪問検針をしなくなり、更に1日に何回も検針することで、利用パターンの把握や、見守り機能などの構築が可能になっています。検針結果のお知らせを、どのようにするかはまだ課題が残っていますが、「印刷した用紙の郵送や持参」という方法は、インターネットを利用することで、確実に減ってきており、「郵送コストの削減」にも寄与しています。

すでに「自動検針」を行っている販売店様は多いと思いますが、より進化したLPWA型の検針も増えると思い、アクセスとしてご提案できることをまとめました。

1. 検針結果のお知らせ方法

A. 電子メールでお知らせする。

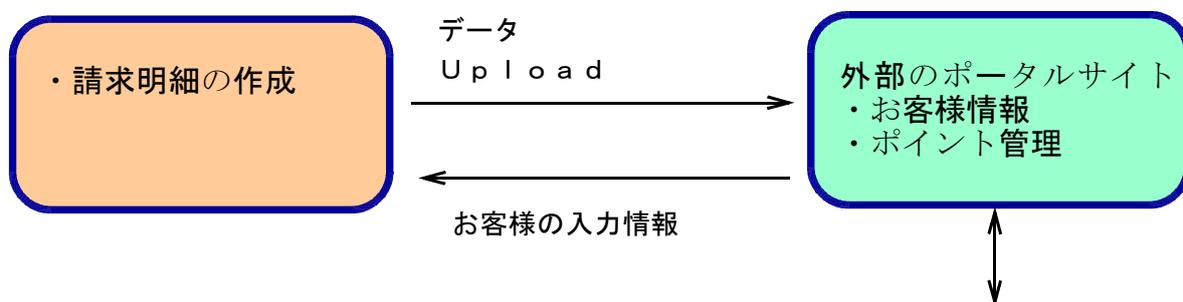
定型文書に、お客様の利用内容を追加挿入して、自動でメールを送信します。

基本的に、発信する側に通信費はかかりません。

このソフトウェアは、アクセスからご提供できます。

◎お客様に、メールアドレスを提供して頂くことが課題ですが、口座振替や保安調査のお知らせなどにも活用できるので、例えば、利用者には毎月50円の値引をするとか....

B. ポータルサイトでお知らせする。



外部委託する為の費用はかかりますが、運用は楽になります。

請求明細作成のソフトウェアは、アクセスからご提供できます。

◎提携している外部業者をご紹介しますので、お問い合わせ下さい。



ログインして、自身の利用状況を確認

C. 圧着はがきでお知らせする。

原始的ではありますが、紙を残すことができるという点で、有益な部分もあります。

口座振替のお知らせや、コンビニ収納も可能な用紙を使う方法があります。

PDF形式の請求はがきを、アクセスで代理発行することを承っております。

2. 配送システムとの連携

LPWA型の検針を利用して、検針データを毎日取り込むことを計画しています。これが実現できれば、容器の残量が日々把握でき、緊急配送指示を簡単に出すことができます。もちろん、使用量が少なければ、予定日を後方にずらしていくこともできるので、配送効率が上がります。

これらの機能は、標準プログラムでご提供する予定です。

3. 請求・回収方法について

請求・回収の方法はなかなか変更はできないと思いますが、お知らせの方法は、追加することが可能です。ここでは、自社システムを使用して、電子メールを活用することを提案します。すべての機能は、お客様個々に選択できるようにします。

- A. 「口座振替の予定お知らせ」を送る。
振替予定日の数日前に送付して、「残高不足」などの不備が起こらないようにします。クレジットカードも同様です。
- B. 「口座振替の不能お知らせ」を送る。
何らかの理由で、口座振替できなかった場合に、お知らせします。クレジットカードも同様です。
- C. 請求書をPDF形式で送付する。
印刷したものと同一ものをメールで送ります。FAXでも良いのですが、より鮮明な文書を送ることができます。
- D. QRコードを送付する。
将来的に、スマートホンで表示したQRコードで、コンビニ支払ができるようになる可能性があります。
- E. お客様の手元に、紙媒体による明細が残らないので、1年に1度明細を「紙に印刷」して送付する。
- F. その他、督促状などの送付

これらの機能は、外部のポータルサイトと連携して活用することも可能です。例えば、取引明細などの照会があったときには、ポータルサイトで閲覧した方が便利なので、接続方法を案内してあげるといいと思います。外部連携により、LINEでの「お知らせ送付」も可能になります。

4. 保安調査、器具などの販売促進

大事な定期保安調査でも、お客とアポイントをとることが難しいです。メールで連携したり、ポータルサイトで連携して、スムーズな対応ができるようにして下さい。メール送信機能は、アクセスからご提供できます。

◎自社システムからメールを送信した場合、送信履歴を管理する機能があります。

(一部のお客様)

◎必要なコストは、機能により異なりますので、アクセスにご相談頂ければ幸いです。

アクセスでは、様々な
ご要望にお応えするた
めに、日々プログラム
などの改善を行っており、
またパソコンなどのハ
ードウェアについても、
より良いものをご提案
できるように、研究や
調査を行っています。

お役に立てる内容があ
ると思いますので、な
んなりとお問い合わせ
下さい。